

メキシコだより 10月号

川田 佑樹

メキシコシティは富士山の五合目と同じくらいの標高に立地している影響もあり、到着当時に比べて朝晩の寒さも厳しくなっております。本日は CEPE（メキシコ国立自治大学附属スペイン語学校）の最初のセメスターが終わったので、セメスター後にあった休暇を利用して訪れたグアナファト、サン・ミゲル・デ・アジェンデについて書きたいと思います。

グアナファト

グアナファトはメキシコシティから見て大体北西に位置しており、バスを利用して大体5時間くらいでつきます。5時間は長く感じるかもしれませんがメキシコの高速バスは日本のものと異なり、とてもスペースも広く快適です。また、町全体が世界遺産に登録されており、特に家の壁は様々な色で塗られており日中に眺めるととても心が躍ります。さらに今回の休みで行こうと決めた理由は文化の祭典であるセルバンティーノが10月いっぱいグアナファトで行われているというのもありました。その祭りの影響



もあり街中ではたくさん絵売りや



ダンスなどを披露している人がいました。

毎年セルバンティーノでは世界から1国が招待国として選ばれてその国の文化に関係した音楽や劇が夜に劇場等で行われるようです。

今年インドが招待国で、私はインドに関する劇を見ました。それだけではなく世界にも類を見ないようなミイラの博物館や、かつては鉱山の町だった影響で鉱山ツアーがあったりと、グアナファトは魅力的な街なのでもしよかったらセルバンティエノの期間はもちろんのことそれ以外の時にも、是非一度訪れてみてください。

サン・ミゲル・デ・アジェンデ



サン・ミゲル・デ・アジェンデはグアナファト州にある都市でグアナファトの中心から大体1時間半くらいのところにあり、この町は非常に手工芸品が有名です。またコロニアル建築の歴史的建造物があり、その影響からスペインの国旗色であるオレンジ、黄色、

赤といった暖色系で塗られた家が多いように感じました。私の印象としては町全体がとてもゆったりとしたように感じ、とてもお気に入りの場所の一つです。なんといってもこの町にあるサン・ミゲル・デ・アルカンヘル教会は今まで見てきた他の



教会と規模感、豪華さが違うように感じ非常に圧倒されました。またこの教会は職人がスペインから送られてきた一枚の設計図だけを頼りに作ったらしいのですが、

そうとは思えないくらいの造りでした。

